

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	防災、災害対策事業	コード	91101
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 小林 隆
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	危機・防災・減災対策の推進
		予算科目	防災、災害対策費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	防災・減災対策推進のため、その根幹をなす住民一人ひとりの防災意識を高めるための事業や、各種法令に基づく業務のほか、関係機関との連携や体制整備に関する業務		
目的	対象者	市民	
	意図	防災・減災対策の推進	

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>①災害危険箇所の視察：4月23日～24日 42か所 県、警察、消防、市関係課職員参加</p> <p>②防災会議の開催：5月23日・3月10日 岡谷市地域防災計画の修正等</p> <p>③防災啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等：13回610名 ・岡谷市防災の日（7月19日）関連事業：防災行政無線等による広報及び危険渓流宇市民見学会20日（市民23名参加）、平成18年7月豪雨災害パネル展（イルフプラザ）の開催 ・防災とボランティアパーク：1月15日～20日 会場 ララオカヤ 平成18年7月豪雨災害パネル展、消防団、ボランティアセンター等パネル展示。防災関連グッズの展示販売、非常食の試食、煙体験、防災カルタ、トン汁の炊き出しの実施。長野地方気象台職員を講師として招き、「防災気象情報について」と題し講演会を開催した。 <p>④災害時応援協定の締結：3月20日 医療救護活動に関する協定 3月26日 LPガスに係る協力に関する協定を締結。</p> <p>⑤GISを活用した防災体制の構築準備：住居表示台帳データ化事業</p> <p>⑥諏訪地域防災啓発共同事業：7月13日 諏訪市講演会開催</p> <p>⑦平成18年7月豪雨災害記録誌の販売</p>			
前年度の課題への対応	岡谷市地域防災計画を修正し、住民への周知に努めた。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	出前講座開催回数			単位	回
実績値	19	9	13		
*指標の説明	講座を開催した回数				
② 成果指標（指標名）	出前講座参加者数			単位	人
目標値	300	300	300	1,000	
実績値	1,102	860	610		
達成度	367.3%	286.7%	203.3%		
*指標の説明	講座の参加者人数				
*目標値の設定方法の説明	回数×50人				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	179,353	6,487,216	6,564,737	157,500
経常経費	179,353	187,216	159,737	157,500
臨時的経費	0	6,300,000	6,405,000	0
* 臨時的経費の説明	住居表示台帳データ化等業務委託料			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	6,400,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	0.80
③ 合計コスト(①+②)	8,179,353	14,487,216	14,564,737	6,557,500
前年度比		177.1%	100.5%	45.0%
財源内訳				
一般財源	8,119,353	8,128,216	8,131,737	6,512,500
特定財源	60,000	6,359,000	6,433,000	45,000
* 特定財源の説明	災害記録誌売却代、緊急雇用創出事業県補助金(H24. H25)			
④ 活動一単位あたりコスト	430,492	909,691	627,672	
前年度比		211.3%	69.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
地域防災啓発共同事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	83,394	83,685	83,368	48,000
長野県地震対策強化地域連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	12,500	12,500	12,500	12,500
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	95,894	96,185	95,868	60,500
	割合	53.47%	1.48%	1.46%	38.41%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	70.9%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	203.3%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 住民の一人ひとりの防災意識の向上	
	改 善 方 法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 防災意識は、普段の生活の延長の中で捉えていただけるよう、一時的な施策により浸透させるのではなく、様々な手段による切れ目ない地道な広報啓発活動が必要である。
改善開始時期		平成26年4月から通年

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	-------------------------------------------	---